

令和 7 年度 第 1 回 東かがわ市地域公共交通活性化協議会

日時：令和 7 年 6 月 30 日（月） 15：15～16：40

場所：東かがわ市引田公民館 3 階ホール

■議事次第

- 1 開会
- 2 委嘱状の交付及び委員紹介
- 3 役員の選任
- 4 議題
 - (1) 令和 8 年度 地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金の認定申請について
- 5 協議事項
 - (1) 東かがわ市地域公共交通計画の改定について
 - (2) その他・地域公共交通に関する意見交換について
- 6 閉会

■協議会記録

4 (1) 令和 8 年度 地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金の認定申請について

事務局) 議題 (1) 令和 8 年度 地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金の認定申請について、資料 2-1、2-2 を説明。

会 長) 資料 2-2 の申請について、もう少し詳しく説明をお願いします。

事務局) 今回申請する路線が大川自動車の五名・福栄線である。目的・必要性については、幹線交通への接続を含めて地域内交通として必要不可欠な路線となっている。また近年に関しては、大川バスの運転士不足で市内路線バスの減便を行っている。本路線に関しては、市民の生活に必要不可欠な路線であり、重要性が高まっているため、今回申請することとなっている。

会 長) 資料 2-2 に事業の目標について、令和 7 年度については収支差は改善している。また、年間利用回数についても現計画策定時より令和 7 年度で改善している。この点について、補足説明をお願いします。

事務局) 年間利用回数については、大川バスが乗り方教室を実施しており、その成果かと感じる。

委 員) 利用回数が増えている点については、要因が不明である。ただ、五名・福栄線から引田線に乗り換える方で定期券を発券している方が増えている。これは非常に喜ばしいことで、通勤・通学・買い物などでもっと利用いただければ今後も期待できる。

会 長) 収支差が改善している点についてはどうか。

委 員) コロナ前には戻っていないが、コロナの頃と比較すると利用が増えていることや

減便もあり人件費がかからなくなったなど、収支改善にはそういう点も多きかなと感じている。

会 長) 全般的に見ると少し改善傾向があるものの、委員さんの説明にもあったとおりの状況かなと感じる。補足すると、フィーダー系統ということで、五名・福栄線に国庫補助金を充てるということである。流れは本協議会で承認の後、四国運輸局に申請し、細かい修正は事務局で対応という形になるかと思う。内容については、説明のとおりであるが、ご承認いただけるか。

委員一同) 異議なし

会 長) フィーダー系統補助金については、ご承認いただいた。

5 (1) 東かがわ市地域公共交通計画の改定について

会 長) 続いて、5 協議事項 (1) 東かがわ市地域公共交通計画の改定について事務局より説明をお願いする。

事務局) 協議事項 (1) 東かがわ市地域公共交通計画の改定について、資料 3 を説明。

副会長) 市民ニーズ・利用実態調査のところで、パーソントリップ調査データを利用する予定ということで、いつぐらいに実施したデータになるのか。

事務局) 2020 年のデータを基に実施する予定としている。

副会長) このデータについては、どこで実施したものになるのか。

事務局) 県で実施しているものとなり、最新が 2020 年である。

委 員) 現行計画を作成する際に市民アンケートを実施していると思う。今回も市民アンケートを実施することだが、前回の調査結果と今回の調査結果を比較して、市民ニーズの変化や新たなニーズが出たなどをわかる形にするのはどうか。市民ニーズやヒアリング、課題整理を含めて、前回の計画を含めた検証が良いと感じた。

会 長) 現行計画の評価検証の中で把握した情報と今後アンケート調査を行う中で、どのように市民の皆様のニーズが変化しているのかに関しては、アンケート調査を含めて検討していきたいと思う。市民アンケートは今年も実施予定か。

事務局) 実施予定である。

会 長) 2020 年のパーソントリップデータを利用するというので、コロナ禍でかなり手控えしていた時期である。それが変わっているので、もし今回アンケートを実施するのであれば、外出頻度や行き先など、人の動きを把握した方が良いと感じる。

事務局) コロナは特殊な状況のため、その点も考慮した上で、どのようなアンケートを採るのか検討しながら、質問項目を考えていく。

会 長) アンケートについては、調整が必要である。コロナによって、生活様式が変化し、働き方改革等が影響していると思う。また、長時間の滞在時間が減っていることもあり、工夫が必要である。アンケートに関して、今の状況等の確認をし、それを受けて設計を実施した方が良いと思うが、時間が厳しい感じがする。

事務局) アンケート実施前にもう一度会議を開催するかメール等で情報共有し、意見を頂くかどちらの方法が良いかと思っている。

会 長) 会議で集まって意見を出し合った方が有意義な感じはするが、かなりタイトなスケジュールになっているため、調査票の部分は一度確認する作業があってもいいと思う。

事務局) 11月に第2回の協議会を開催する理由の一つとして、補助金の申請について、本協議会で検討する必要があるためである。補助金の検討を書面開催で承諾いただけるなら、この開催時期を変更することを検討できる。

会 長) 第2回の協議会の内容を見ると地域公共交通の課題整理ができたところで、課題の確認作業があるため、ここで協議会は開催した方が良いと思っている。現状整理ができた後に市民アンケートについて皆さんに確認いただき、それぞれの立場から把握したいことなどを盛り込む形がいいかと思うが、いかがか。

委員一同) 賛同

会 長) そのため、協議会は現状のスケジュール通り準備していただき、市民アンケートについては皆さんに意見を頂くこととする。

事務局) 協議会については、予定通り開催し、市民アンケートについては、調査項目ができた段階で皆様にご意見いただく形とする。

会 長) アンケートについて、たたき台ができた段階で意見をもらう形が良い。交通事業者の方は、利用している方の意見はは取れるが、利用していない方の意見はこの市民アンケートでとれないので、気になる項目等があれば入れておく方が良いと感じる。

事務局) たたき台ができた段階で共有し、メールで対応する。不明点等あれば、ヒアリングでも対応する。

会 長) その方向でお願いする。

5 (2) その他・地域公共交通に関する意見交換について

会 長) 続いて、その他の公共交通に関する意見交換であるが、委員の皆さんから意見はあるか。

委 員) 地域内フィーダー系統確保維持国庫補助金について、五名・福栄線が補助対象となっている。この情報について、周知はされているのか。細かい数字はいらないが、このくらい費用がいるということを市民へ周知しないのか。地域住民が知っていた方が現状を意識して、考えてくれるのではないかと感じる。

事務局) 公共交通計画に評価指標があり、市内路線バスの収支差という目標が設定されている。周知に関しては、市ホームページ等で掲載しているが、細かい情報の周知はしていない。

委 員) 今後、市民全体に周知を実施する予定はあるのか。

事務局) 周知方法を検討していく。

会 長）本協議会内で事業報告があり、目標値の達成度について、報告はしているが、市民にはあまりことなので、市の広報等でPRする方法もある。現状、協議会の議事録等はホームページで公表しているが、それだけでやっているというより、その他の周知方法を検討した方が良いと感じる。

事務局）広報誌等、先ほどご提案いただいた内容と計画の評価検証を踏まえて議論の場
に示すようにする。

会 長）計画策定上で改善している部分やモーダルミックス事業を実施していることも
広くPRした方がよいと感じる。

委 員）JR引田駅の公衆トイレと大屋根等の整備及びモーダルミックス事業の継続して
いること感謝する。R6年度の利用状況は、R5年度と比較すると四国全体では、
100%を超える結果であった。ただ、定期券の利用者でいうと100%を下回っている。
地域によっては定期券が増えているところもあるが、全体的には減っている。コロナ
前と比較すると90%前後となっており、要因としては、コロナ禍後の生活様式の変化
や人口減少である。この5年間でどんどん進んでおり、今後もそれを超えるのは難し
い。また、インバウンドのお客が増えている状況かと思うが、人口減少が大きく影
響していると感じている。

委 員）五名・福栄線に定期券で乗られている方が増えたことは非常に喜ばしいこと
である。また、モーダルミックス事業は学生だけではあるが、非常によく利用されてい
る。月によっては70回程度の数字も出ているので、今後も継続をお願いできればと
思う。また、乗り方教室であるが、市内小学校3校とR7年度引き続き申込みを頂い
ている。継続して実施する予定で、今後は幼稚園や高齢者の乗り方教室等もできら
ばと思っている。バスに乗ったことがないという声が多くあるため、免許返納の割引も
あり、半額で乗車できるため、高齢者の乗り方教室を実施できればと思っている。

会 長）さぬき市では過去に2回実施している。東かがわ市でもぜひ取り組みができ
ばと思う。また、現状バス停にQRコードを作成しており、スマホで読み取ると何分
後にバスが来るという情報を見られる。今後はデジタルサイネージも検討しており、
高松市役所が導入している。

委 員）タクシーの売り上げについては、タクシーチケットのおかげで少しは売り上げ
が上がってきているが、利益が出るまでではなく、今年3月決算も赤字であった。運
転手が少ないこともあり、現状高齢者の運転手が半分以上で、今後5年ぐらいで半数
程度になる見込みである。そのため、5年ぐらいが限界ではないかと考えている。そ
の辺りを市と協力してやっていければと思う。また、今年から配車アプリを導入す
るようになるが、試験的に1台だけテストして実績を見ようと思っている。結果につ
いては、後日報告する。

委 員）タクシーについては、若い人より高齢者が多い。タクシーチケット事業を実施
しており、お客様は増えているが、収支はマイナスである。また、先ほどの意見と同
様になるが、運転手不足で、私自身も走っている状況であり、この状況は厳しい。政

策金融補助 2000 万を借りてやりくりしていたが、今年から返済しないといけない。そういう面で非常に厳しい状況である。高松市では、1 台あたり 10 万円の補助金があると聞いている。そういう面で考えていただかないと非常に厳しい状況である。ただ、市民を守っていかないといけない、公共交通機関という使命感があるので、継続して運行している。

会 長）タクシーが厳しい状況に陥っているということであるが、全国的に見ていて、田舎の方になると、コミュニティバスやデマンドタクシーが導入するところで、地元タクシー会社に委託して、タクシー会社が維持されているという事例があり、そういったことを実施していないところは、どんどん廃業している。このことについては、事務局も含めて、何かサポートをしていくというのを早期に作っていかないと危ないかもしれない。また、先ほどのお話の中に、高松市がタクシー会社に補助金を出しているということで、補助金を原資にしながらドライバーの確保については、人材派遣会社に登録する形が多くその登録料を市が補助できるなど、検討した方が良いと感じる。

委 員）先ほど乗り方教室のお話があったが、高齢者の乗り方教室は、サロンや老人クラブ関係者等にお願ひできればと感じる。ただ、団体によっては少人数のところもあるが、どの程度人数が集まれば実施できるのか。

委 員）人数は少なくとも実施できる。

委 員）ぜひ団体の皆様に周知できればと思う。以前に団体が集まって、JR に乗って高松駅まで行って買い物をして帰ってくる活動を実施したと聞いている。その際に切符の購入方法がわからない方もいたため、そういう教室は必要と感じる。

会 長）他に意見はないか。

委員一同）意見なし

会 長）議事は全て終了した。報告や地域の困りごとなど何かあれば、本会で報告し、情報共有するように願ひする。

以 上